

子どもたちのために役立ててください



▲左から愛甲さん・稲付さん・東町長・藤井教育長

6月22日(月)、鹿児島県立有明高等学校同窓会会長の稲付道憲さん(昭和41年卒)と事務局長の愛甲実久さん(昭和44年卒)が役場を訪れ、本町へ寄付をしてくださいました。

これは、鹿児島県立有明高等学校同窓会と旧鹿児島県立有明高等学校職員から、長年お世話になった大崎町へ恩返しをしたいということから行われました。

稲付さんは、「未来を担う子どもたちの為に、図書購入に充ててください。」と笑顔で話されました。

『社会を明るくする運動』に取り組みました！

6月23日(火)、役場にて『第65回社会を明るくする運動』のメッセージ伝達式および出発式が行われました。伝達式では、大崎町保護司会長(岩田秀一さん)と曾於保護区保護司会長(山中ミチ子さん)からあいさつがあり、その後、大崎町更生保護女性連盟会長(黒丸須美恵さん)から総理大臣メッセージ、児玉正治保護司から県知事メッセージがそれぞれ町長に伝達されました。

伝達式の後には、啓発活動の一環として、大崎町更生保護女性連盟と大崎町保護司会は学校訪問を行い、学校をきれいにしてほしいとの思いから手作りの雑巾を寄贈されました。



▲気持ちをひとつに活動します

歌之介師匠がやって来ました！



▲独演会の様子

6月25日(木)、落語家の三遊亭歌之介さんが、口永良部島噴火被災者支援のためにチャリティ寄席『三遊亭歌之介独演会』を野方改善センターで開催しました。

歌之介さんは、「遊び心を忘れずに」「笑いは健康の源」といった実体験を基にした話を『鹿児島弁落語』によって表現され、会場は大きな笑いに包まれました。活力あふれる内容で、来場者は落語の世界に引き込まれました。会場で集まった募金は、口永良部島噴火被災者の支援金として送られます。